

〈参考資料〉

2018年2月23日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

魚介類の核種分析結果〈福島第一原子力発電所港湾内〉

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
アイナメ(筋肉)	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	13	140	153
ボラ(筋肉) No. 1	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	ND(7.0)	22	22
ボラ(筋肉) No. 2	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	ND(6.0)	42	42
ボラ(筋肉) No. 3	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	ND(5.5)	24	24
ボラ(筋肉) No. 4	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	33	250	283
ボラ(筋肉) No. 5	1F港湾内(メガフロート前)	2018年1月11日	10	64	74
クロソイ(筋肉)	1F港湾内(シルトフェンス前)	2018年1月11日	19	160	179

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載し、個別の核種については()内に検出限界値を示す。

※ 基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。